

担当部署名	事務事業名/事業概要	目標達成状況(成果)
総務部	情報管理室 社会保険・税番号制度(マイナンバー制度)利用促進事業 マイナンバーカードによる住民票・各種証明書の自動交付機を導入し、市民サービスの向上・業務効率化に取り組むほか、マイナンバーカードの普及に向け独自利用を検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年11月から情報連携の本運用開始</li> <li>・H30年7月からマイナンバーカードによるコンビニ交付サービス開始</li> </ul>
	危機管理課 防災啓発普及促進事業 発表された江の川、三篠川の想定最大規模降雨(概ね千年に1度の大雨)による浸水想定をもとにした、河川の大規模氾濫に備えた減災対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水想定区域内、土砂災害危険箇所内の要配慮者利用施設を抽出し、地域防災計画に記載、各施設へ避難行動計画作成を依頼(H29年6月)</li> <li>・H29年10月からH30年3月にかけて、郷野、可愛、八千代の住民の方へ土砂災害警戒区域等の指定について説明</li> <li>・市内の自主防災組織の代表者等を対象に、避難行動等の啓発を目的とした連絡会を開催(H30年3月)</li> </ul>
企画振興部	財政課 公共施設使用料等の適正化 施設運用費用の一部を利用者に負担してもらう受益者負担に基づいた利用料体系にするため、コストと利用率を基にした利用料基準単価を設定し、H30年度からの新料金体系移行に向け取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者負担の適正化、減免規定の見直しの基本的な考え方を整理し、行政改革推進懇話会で説明(適正化に向けた協議、調整、方針決定に時間を要し、新料金体系への移行には至りませんでした)</li> </ul>
	政策企画課 JR三江線代替交通確保事業 H30年4月1日廃止の三江線に代わる代替交通の確保 沿線住民の安全・安心な運行を確保するため廃止までの緊急措置としての対策を県に働きかけ、工事等の着手へ繋げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代替交通のルート、ダイヤ等について地元協議会にて承認。法定協議会にて沿線6市町の網形成計画を策定(H29年9月1日)</li> <li>・代替交通のルートとなる県道112号線の緊急措置として、対向車表示システム、樹木伐採、側溝整備等道路環境を確保</li> <li>・三江線さよならセレモニーを開催し約500人が参加(H30年3月31日)</li> </ul>
	道駅整備事業 広島県域の国道54号のほぼ中間に位置する吉田町可愛地区に整備することで地域活性化、観光振興の拠点化を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅基本計画を基に公募型プロポーザル方式にて設計者、レストラン運営事業者を選定</li> <li>・道の駅基本設計検討委員会、市議会特別委員会へ報告し、地元地域や産直会員に対して意見聴取を行い、基本設計を作成</li> <li>・道の駅全体の管理運営計画策定のための業務を委託し計画書を策定</li> </ul>
	政策企画課(特命担当) テレワーク実証実験事業 テレワーク(情報通信機器により柔軟に働くことができる勤務形態)の実証実験を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士通株式会社の業務支援により、8か月間の実証実験の期間中、モニターとして共同作業所を活用し、4名のテレワーカーを育成(4名は、在宅によるテレワーカーを継続見込)</li> </ul>
	地方創生推進課 移住・定住推進事業 市が行う移住・定住を推進する施策を、ターゲット層に確実に伝え、地域総ぐるみで移住・定住を促進する地方創生の機運を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページのトップに、定住応援情報を集めたアイコンを配置し、よりわかりやすい情報発信の基盤を作成(適時更新可能なシステムも作成)</li> <li>・どのターゲット層に、誰が、どのような情報を届けるか検討を進め、準備ができたものから情報を発信</li> </ul>
市民部	環境生活課 ごみ減量化対策事業(リサイクル推進補助金) ごみの減量化に向け、地域や各種団体による集団回収・リサイクルへの取り組みを推進 ごみ減量化対策助成金制度・生ごみ減量化対策助成金制度を継続し、効果的な集団回収・リサイクル活動の定着に向け支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源回収量 829.92t(達成率92.2%) ※H30年3月31日現在民間3月分は除く(内訳:古紙546.45t、布類5.75t、アルミ缶43.58t、スチール缶15.08t、ペットボトル28.64t、廃食油800ℓ、民間189.7t、資源回収団体150団体)</li> <li>・生ごみ処理機35台、コンポスト37基を普及</li> <li>・生ごみ減量化のための「エコクッキング教室」を3回開催(参加者延べ18名)</li> </ul>
	結婚サポート事業 未婚の男女増加に歯止めをかけ、人口増・若者定住促進のため、未婚の男女に交流、出会いの機会を提供 結婚希望者魅力アップ研修、工業会・事業所と連携しイベント等を開催、新規会員の増加と成婚を目指す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女の交流の場として、カップリング交流イベントを3回実施(参加者:男性49名、女性56名 カップル成立:14組)</li> <li>・成婚カップル9組</li> <li>・結婚コーディネーター数17名(2名増)</li> </ul>
	人権多文化共生推進課 男女共同参画事業 男女共同参画社会の実現に向け、各場において活躍する方(特に女性)を紹介し、家庭・職場・地域の意識高揚を図るため、男女共同参画だよりを発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>①【第2次プランの基本目標3】 「一人ひとりが大切にされる地域づくり」 指標名「男女共同参画だより年間発行数」をH33年度には、12,000部発行予定</li> <li>②H29年度実施状況 ・名称「あきたかた男女共同参画だより」をH29年10月とH30年3月に発行</li> <li>・市内全域回覧、幼稚園、保育所、小・中学校保護者や市内事業所に配布、ホームページに掲載等を行い周知</li> </ul>
福祉保健部	健康長寿課 生活支援員制度構築事業 もやいの精神による「地域全体で高齢者等を見守る体制」を市内全域に構築し、住み慣れた地域で安心して生活できる安芸高田市を構築する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・32地域振興会の内5振興会と2単位振興会と生活支援員制度に係る協定を締結し、対象者39人の見守り活動を開始</li> <li>・24地域振興会と老人クラブ等で、延べ105回の説明会を実施</li> </ul>

担当部署名	事務事業名/事業概要	目標達成状況(成果)
福祉保健部	子育て支援課 24時間保育の充実 (子育て支援員養成事業・ファミリーサポートセンター事業・保育料軽減事業) 誰もが安心して子育てをするため、地域社会全体で子育て世帯を支える「24時間保育体制」を充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育て支援員研修」をH30年1月~2月の間に9回開催し、保育所における保育補助者、ファミリーサポートセンターの提供会員となることのできる「子育て支援員」を6名養成</li> <li>・ファミリーサポートセンター提供会員57名</li> </ul>
	農林水産課 木の駅プロジェクト(里山林整備活動のための啓発活動) 市民自らが山に入り、地域の里山林を整備していく仕組みを構築し、里山林整備活動の担い手を増やし、有害鳥獣対策、災害防止、地域活性化に繋げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工林の整備の機運を高める森の健康診断を実施(24名参加)</li> <li>・シイタケ栽培講演会を開催(75名参加)</li> <li>・ほだ木づくり基礎講習会を実施(14名参加)</li> <li>・安全な伐採作業のため、安全基礎講習会(16名参加)、木材の搬出作業基礎講習会(11名参加)を実施</li> <li>・里山林の受け入れ価格や受け入れ条件について市全域で統一した価格となるよう協議(市全域統一価格での買い取り・受け入れが可能となりました)</li> </ul>
産業振興部	地域営農課 道の駅整備事業 道の駅整備事業のうち、産直市・レストラン等の農業振興部門の充実による農家所得の向上のため、JA広島北部や関係団体と連携し、農産物等の生産・販売拡大に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JA広島北部との定期的プロジェクト会議を開催し、販売増を目指した産直市店舗改修内容の確認、レストランとの役割分担、出荷量を増やす取り組みについて協議</li> </ul>
	商工観光課 企業立地推進事業 市内で新たにサテライトオフィス等を開設、起業などを行う事業者に対し補助金を交付 企業誘致促進のため、市内に立地した企業に対し奨励金を助成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致(規模拡大)…1事業者</li> <li>・サテライトオフィス…お試しサテライトオフィス事業実施予定</li> <li>・起業支援事業…4事業者</li> </ul>
建設部	住宅政策課 空き家関係事業(空き家活用促進) 少子高齢化や過疎化により増加する空き家の対策として、移住・定住希望者に空き家を提供し、人口減対策の一助とし、空き家が将来的に「特定空き家」となり、地域の生活環境に問題が生じることを抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンクへの新規登録…43件</li> <li>・利用登録者…206人</li> <li>・空き家活用等専門スタッフ、地域おこし協力隊員を設置し、空き家情報の提供と実態を把握</li> <li>・空き家物件の売買・賃貸契約…29件(内14件は市外の方)</li> </ul>
	建設課 東広島高田道路整備促進事業 吉田側の橋梁床版・高欄工事、正力側のボックスカルバート工事、トンネル発注準備、吉田側の排水路工事を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>【県工事】</li> <li>・吉田側…橋梁床版・高欄工事完了</li> <li>・正力側…ボックスカルバート工事完了</li> <li>【市工事】</li> <li>・下流排水対策の水路工事完了</li> </ul>
	道駅整備事業 道の駅「(仮称)あきたかた」の施設整備を、国土交通省の道路休憩施設・トイレ施設と本市の地域振興施設・産直市施設・関連施設を一体で整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年8月、委託業者を決定し、基本設計完了</li> <li>・用地取得・建物移転の交渉をH29年6月から開始し、市の整備区域の契約及び承諾を得た</li> </ul>
	上下水道課 上下水道料金改定事業 受益者負担の適正化と会計の健全化を図るため、水道料金と下水道使用料改定に向け準備を進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道料金審議会条例を制定し、H29年10月から審議会へ諮問した「適正な上下水道料金のあり方」について4回の審議を行い、答申(案)を作成</li> <li>・H29年9月より広報誌に「上下水道の今、これから」と題した経営状況や審議会の審議内容をシリーズで掲載</li> </ul>
教育総務局	学校統合格推進室 学校規模適正化推進事業 学校規模適正化委員会からの「教育効果を高め、将来展望に立った教育行政を進めていくための適正な学校規模及び配置のあり方」についての答申内容を尊重し、将来的に展望のある教育環境の整備に取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八千代地区、甲田地区の統合を実施</li> <li>・閉校となる5校の閉校式と閉校記念行事を開催</li> <li>・開校する2校の開校式、校名の除幕式を開催</li> <li>・中学校規模適正化に向け、保護者の実態を把握し、具体的な適正配置検討の参考とするため保護者アンケートを実施</li> </ul>
	学校教育課 学力向上推進事業 小・中学校児童生徒に確かな学力を定着させるため、学習補助員等の配置によるきめ細やかな教育環境の提供、ICTの活用、「安芸高田市学力向上戦略」に基づく教員の授業力向上等に取り組む 小・中学校における英語教育の充実、強化を図り、中学生の英語力強化のため、英検受験料を公費で負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島県「基礎・基本」定着状況調査における通過率60%以上の児童割合83.0%、生徒割合73.2%</li> <li>・「外国語活動が楽しみ」「もっと英語を勉強したい」と思う小学生割合85.2%(目標90%) ※「安芸高田市外国語調査一斉アンケート」より</li> <li>・英検受験料の公費負担(生徒1人1回)により受験を促進し、中学校第3学年の英検3級の取得率が39.8%となり目標取得率を大幅超(取得生徒数88人/中学校第3学年生徒数221人)</li> </ul>
生涯学習課 文化財保護事業 昨年度作成の保存整備計画概要の素案をもとに、引き続き史跡甲立古墳保存活用計画策定委員会を開催し、甲立古墳保存活用計画を策定する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡甲立古墳の保存と、将来に向けての活用方法の指針となる保存活用計画を策定(今後手続きを進め公開)</li> </ul>	